

キ ャ リ ア 教 育

1 キ ャ リ ア 教 育 の 新 た な 定 義

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月）では、キャリア教育の新たな定義として「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と示されました。

菊池一文氏は、『実践キャリア教育の教科書』で本定義の理解についての留意したいポイントを示しています。内容をまとめると次の3点になります。

- ①「社会的」という文言から、ここで言う自立とは、一般就労を中心とした職業的自立のみを目指したものではなく、より広義の自立を目指しているということ
- ②「自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる」という箇所の「能力や態度」とは、単に就労のための知識・技能等、特定の領域のものを意味するのではなく、広義の自立のための基盤・土台となる能力や態度を意味する。これらは、特定の活動において育成されるのではなく、全学部の教育課程全体を通して取り組むべきものであるということ
- ③「能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す」の箇所では、キャリア教育とは、「育てたい力の枠組み例」として示された「4領域8能力」や「基礎的・汎用的能力」、また、「知的障害のある児童生徒のキャリアプランニング・マトリックス（試案）」の各観点の育成のみを意味するものではない。キャリア教育とは、「育てたい力の枠組み例」として例示された能力や態度の育成を通してキャリア発達を促すということ

2 キ ャ リ ア 発 達 を 促 す と は

キャリアは、職業経歴や仕事そのものを意味する「ワークキャリア」と、様々な生活場面で個人が果たす役割を踏まえた働き方や生き方を指す「ライフキャリア」に大別されます。キャリア教育では、「ライフキャリア」の視点でキャリアを捉えます。

つまり、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねを「キャリア」と言います。

このキャリアは、ある年齢に達すると自然に獲得されるものではなく、外部からの働き掛けがあって、人の発達の段階や発達課題の達成と深く関わりながら段階を追って発達していきます。つまり、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくのです。この過程を「キャリア発達」と言います。

このキャリア発達を促す取組が、「キャリア教育」です。学校教育では、社会人・職業人として自立していくために必要な基盤となる能力や態度を育成します。しかし、キャリア教育で示す「能力や態度」は、「できる」「できない」といった個人の現能力や態度だけではなく、あくまでも「育成」の姿勢が重要です。この姿勢が、学校づくり、授業づくりの実践につながります。

3 キャリア教育の視点に立つということ

キャリア教育の推進には、学校全体でのキャリア教育の意味や価値の共有が不可欠です。そのために、ここでキャリア教育の視点に立つということを再確認します。

一つは、「キャリア教育」は教育改革の理念であって、キャリア教育に特化した特別の活動とかイベントを行うものではありません。つまり、キャリア発達や個の自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していく理念や方向性を示すものです。具体的には、学校教育目標や学部目標、教育課程などを見直した『学校づくり』を行うことです。

もう一つは、児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリア形成をしていくために必要な意欲・態度や能力を育てるという教育の理念です。こちらは、学習指導要領や障害特性を理解した上で、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた「生きること働くことにつなぐ学び」の『授業づくり』を行うことです。

4 キャリア教育実践のQ & A

○ キャリア教育の推進にあたり自校版キャリアプランニング・マトリックスを作成したが、うまく活用できません。よい方法を教えてください。

キャリア教育の推進を狭い視点で捉えていませんか。また、キャリアプランニング・マトリックスの作成、活用が目的になっていませんか。作成したものは、学部目標や学部経営の基本と重なり、学部の経営の価値付けにはなりません。しかし、キャリア教育の推進は、キャリア発達を促すことなので、重要なのは取り組みを授業づくりに切り替え、各学部段階・発達段階での指導を充実させることです。

○ 障害の重い児童生徒のキャリア教育について教えてください。

障害が重度であっても、ライフキャリアにおける役割はあります。例えば、家族の一員として元気であること、卒業後の生活介護の事業所にも通えること、仲間との関わりが楽しめることなどが考えられます。そのためには、学校では生活リズムを身に付けたり、体力が付いたり、はい・いいえが表現できたり、誰の支援も受け入れられたりといった今の学びの全てが重要になります。

「生きること働くことにつなぐ学び」の意味を理解し、今の学びを再確認し、自立に向けた取り組みをすることです。

○ 特別支援学校は、以前からキャリア教育をしてきたと言われるのはなぜですか。

特別支援学校の目的は、学校教育法第72条に、「(略) 準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。」とあります。また、キャリア教育は「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義されています。どちらも目指すところや育てるものが共通しています。大切なのは、「してきた」ではなく「している」にすることです。